

中広中学校だより

平成23年1月14日(金) NO. 15

校 訓 ・ ・ ・ 清 純 ・ 平 和 ・ 希 望

学校教育目標・・・「心身ともに健康で、社会に役立つ自主的行動のできる生徒を育成する」

広島市立中広中学校

平成23年を「飛躍の歳」に！

新しい年が明けました。遅ればせながら、今年もよろしくお願いします。今年はウサギ年です。ウサギのように大きく飛躍できる歳にしたいものです。ここで、あえて「歳」としたのは、一人一人が成長して欲しいという思いを込めています。

「少年老いやすく、学成りがたし」とは故人が言った言葉ですが、昔の人は、その長い人生経験から、いろいろな含蓄ある言葉を多く残しています。1月は行く、2月は逃げる、3月は去るというように、歳月は人を待ちません。

目標・夢を持って、さらにはその実現のためにスモールステップに小目標を設定し、地道に達成を積み重ねて行かねば実現はおぼつきません。安全と健康に気をつけて今年を過ごしましょう。

学校経営計画素案について

学校は例年、年度末へ向けてその年度のまとめを行うとともに、次年度の目標を作成します。右面～裏面は、本年最初の校内研修会にて、学校長から教職員へ示した平成23年度の学校経営の方向性を示した素案です。保護者の皆様方からも広くご意見がございましたら、学校へその思いをお寄せ下さい。学校・保護者・地域の三者がスクラムを組んでこそ、子どもたちの豊かな成長があります。校長談話室なども活用いただいて、遠慮なくご意見をお聞かせ下さい。よろしくお願い申し上げます。

平成23年度 広島市立中広中学校学校経営方針(案)

- 1 校 訓 清純 平和 希望
- 2 教育目標 「心身ともに健康で、社会に役立つ自主的行動のできる生徒を育成する」
- 3 目指す諸像

生徒

- ① 自己肯定感を持つ生徒
- ② 粘り強くやり抜く強い意志と周囲への思いやりを持つ生徒
- ③ 地域を大切にする生徒

学校

- ① 高い授業力と協同的な学びのある学校
- ② 誇りと信頼の絆で結ばれている学校
- ③ 保護者・家庭・地域・関係団体と協力・信頼の絆で結ばれている学校

教職員

- ① 確かな授業力を身に付けた教師
- ② 豊かな教養・人間性を持つ教師
- ③ 常に自ら学び続け、積極的意欲を持つ教師
- ④



裏面に続く ⇒

4 平成23年度 重点目標

- (1) 授業に生徒指導の三機能(※1)を活かし、授業に意欲的に取り組む生徒を育成する。
- (2) 信頼・協力・尊重しあえる学習集団の育成

5 学校経営計画

	学力の向上	豊かな人間性の育成	信頼される学校づくり
中期経営目標	授業に意欲的に取り組むことができる生徒を 95%以上とする。(3年次)	あいさつ・声かけをとおして、学校全体でお互いを信頼し、尊重しあえる仲間づくりを目指すとともに、生徒自ら自己肯定感があること・自らの成長を実感する生徒が 100%とする。(3年次)	保護者・地域に学校の取組に対する理解を広め、学校への信頼度において肯定的評価を 95%以上とする。(3年次)
短期経営目標	① 授業がわかる生徒を 80%以上とする。 ② 基礎・基本定着状況調査、全国学力・学習状況調査等での通過率 60%以上の生徒を 80%以上とする。	① 学校の内外を問わず、あいさつの習慣がついたと実感する生徒を 90%以上とする。 ② 掃除を学習・自己研鑽・修養の機会として取り組む生徒を 90%以上とする。	① 学校内外のボランティア活動への参加経験を持つ生徒を 60%以上とする。 ② 地域の各種行事へ参加した生徒を 70%以上とする。
具体的方策	1 授業開始時に学習目標(本時の目標)を確実に提示する。 2 授業開始時に前時の振り返りを確実に行う。 3 「振り返りシート」でわからないと言える授業風土をつくる。 4 協同学習(※2)の場面を総計で1日30分間確保する。 5 ICT機器活用を計画的に行う。 6 生徒実態に応じた個別指導を実施する。 7 家庭学習習慣を身に付けるため、週末課題・学習ノート(1日1ページ)を活用・実施する。 8 数学は、特に意図的・全校的取組を展開する。	1 教師自ら生徒への挨拶を積極的に行う。 2 「がんばりチケット」で挨拶・掃除の肯定的評価活動を行う。 3 月に1回以上、エンカウンター・ライフスキルの実践的グループ型研修を持つ。 4 掃除について統一した指導を展開する。 5 専門委員会を活性化し、校内美化(清掃ボランティア等)・読書活動の推進を図る。	1 ボランティア手帳を活用し、校内外において、ボランティア活動の機会を増やす。 2 ボランティア紹介黒板の設置による広報活動を行う。 3 横川ふしぎ市、三篠公民館まつり等の地域行事への参加募集を募る。 4 市内大型地域イベント(フラワーフェスティバル用花育成等)に生徒が育てた花を提供し、支援する。

(部分の注釈)

※ 1：生徒指導の三機能

予防的生徒指導の柱とされるもので、以下の3機能とされています。

① 共感的な人間関係の育成

教師と生徒が、生徒同士が、互いに人間として尊重しあい、受容的・共感的な態度で接しあい、共感的に深く理解しあう人間関係づくりを図ること。

② 自己決定の場を与える

生徒が、自らの言動を選択・判断し、実行し、責任をとるという体験（自己決定の場）を積み重ねることができるようにすること。

③ 自己存在感を与える

生徒一人一人の存在をかけがえのないものとして尊重し、他者とのかかわりの中で、学ぶ楽しさや、成就感を味わうことができるようにすること。

※ 2：協同学習

コミュニケーション・人間関係における安心感・承認感・自己有用感や相互交流・理解・援助を基盤とした教育活動（学習活動）のこと。

40日・48日です。

この日数は、何だか分かりますか？実は、40は3年生が中広中学校で過ごす残りの中学校生活日数。48日は1・2年生が同じく現在の学年を修了するまでの中学校生活に日数です。特に3年生はこの間に受験（受検）が入っていますので、実質クラスの全員がそろっての授業日となると、もっと少なくなります。どの学年も次の新しいスタートへの準備をこの間にしなければなりません。正門横の桜の木には、数ミリの新芽がついています。既に来るべき「春」への準備をしているのが良く分かります。そして、どの桜の木も、去年あれだけ咲かせたから、今年は少なめにしようなどと考えている様子が微塵も伺えません。どの木も、必ずやってくる春へ向けて、出来るだけの精一杯の花をつけようと準備しています。もしかすると、「去年頑張ったから、今年は適当に・・・」なんて考えているのは「人間」だけかもしれません。



自転車は「車両」です

中学生だから・・・は許されません

先日7日の新聞に、ドキッとする記事が載っていました。内容は、自転車事故で亡くなった方への損害賠償請求額の3000万円を当時中学生だった男性が求められたというものです。運転免許を持っている人は自転車がオモチャではなく、道路交通法上の「車両」であることは誰でも知っています。すなわち、



自転車に乗っているときは、道路交通法を遵守しなければならない義務が運転者にはあるのです。従って、運転者の過失による損害は、当然のことながら、賠償せねばなりません。中学生だから・・・、子どもだから・・・は通用しません。思慮分別の不十分な幼児であればさておき、中学生という善悪の判断のできる年齢であれば、相応の責任を問われることがあるということです。春の交通安全運動を前に、今一度各家庭でも話題として下さい。転ばぬ先の杖です。

いよいよ本番です・・・インフルエンザに要注意！

下記は広島市の感染症情報センターのホームページの記事です。いよいよ本番に突入しそうです。例年、流行宣言後の2～3週間目に流行のピークが来ていることを考えると、今後の2～3週間は特に注意が必要です。3年生は特にうがい・手洗い等のきめ細かなケアが必要です。

第1週(1月3日～1月9日)の、市内の定点医療機関(37 定点)からの報告数は、前週の25人(定点当たり0.68人)から **74人(定点当たり2.00人)**に大きく増加し、**流行開始の目安となる定点当たり1.0人を上回り、今季のインフルエンザ流行シーズンに入ったと考えられます。**

お知らせ

☆ 校長談話室を開きます

1月29日(土) 10:00～11:30に今年最初の校長談話室を開催します。時間がありましたら、気軽に校長室をお尋ね下さい、お待ちしております。